

## 1. 学校法人の概要

### ①建学の理念・精神

#### [建学の理念・精神]

1935年の前身校（多摩帝国美術学校）の創立にあたって、その設立趣意書において、「美術は自由なる精神の所産たるを想ふとき、我が美術教育界の缺陷は力説に價するものといふべし。我等同士がこゝに我が美術教育界の缺陷を補填し、我が國美術の振興に寄與せんとする微意に出づ」と壮大な決意を謳いあげている。

美術・デザインの領域における専門教育が官立学校に頼る中、それに匹敵する私立学校を設立し、美術・デザイン領域における専門教育の充実を図ろうとの理念の下に本学は設立された。以来、今日に至るまで美術・デザイン領域における専門職業人、独立した作家の育成を理念としている。

#### [将来に向けてのビジョン]

震災後の困難な時代にこそ、美術大学の果たす役割は大きなものがあると考えており、認証評価機関の評価にも耐え得るべく、今後もさらに自らの質を保証するシステムの構築に取り組んでいく。具体的に中期的な目標を以下にあげる。

- (1) 教育内容及び運営体制の再点検
- (2) 学生受入態勢の強化
- (3) 国際的な美術家、デザイナーを育成する環境の構築
- (4) 専門性と総合性の融合を目指した教育改革

### ②沿革

|       |   |
|-------|---|
| 昭和10年 | 多摩帝国美術学校を5年制の美術学校(日本画科、西洋画科、図案科、彫刻科)として現在の東京都世田谷区上野毛の地に創設   |
| 昭和12年 | 財団法人設立。女子部が創立され、女子の入学が許可  |
| 昭和22年 | 専門学校令により、多摩造形芸術専門学校となり、中等教員無試験検定の指定校となる。  |
| 昭和25年 | 旧制の多摩造形芸術専門学校に3年制の短期大学、多摩美術短期大学(絵画科、彫刻科、造形図案科)を併設   |
| 昭和26年 | 学校法人に組織変更   |
| 昭和28年 | 学制改革にともない、4年制の新制大学多摩美術大学を開学(美術学部・絵画科、彫刻科、図案科)   |
| 昭和29年 | 川崎市溝の口校地に多摩芸術学園(2年制 映画科、演技科)を設置   |
| 昭和30年 | 多摩美術短期大学を廃止   |
| 昭和39年 | 大学院美術研究科修士課程を設置   |
| 昭和44年 | 芸術学科、建築科の2科増設の認可  |
| 昭和46年 | 年次計画により八王子移転を開始。建築科開講   |
| 昭和49年 | 美術学部の八王子移転完了  |
| 昭和56年 | 芸術学科を開講し、美術学部は5科となる。  |
| 昭和57年 | 多摩美術大学附属美術参考資料館が博物館相当施設の指定を受け、一般に公開   |
| 平成元年  | 美術学部二部(絵画学科、デザイン学科、芸術学科)開設  |
| 平成4年  | 多摩芸術学園廃止。美術学部臨時定員増  |
| 平成7年  | 大学院美術研究科昼夜開講制開始   |
| 平成10年 | 美術学部に情報デザイン学科開設、建築科・デザイン科の改組及びデザイン科・芸術学科の定員減により環境デザイン学科、生産デザイン学科、工芸学科を開設。建築科募集停止。美術学部絵画科、彫刻科、デザイン科を絵画学科、彫刻学科、グラフィックデザイン学科に名称を変更。大学院美術研究科芸術学専攻開設 |
| 平成11年 | 造形表現学部(造形学科、デザイン学科、映像演劇学科)開設。美術学部二部募集停止   |
| 平成12年 | 附属美術館を多摩センターへ移転   |
| 平成13年 | 大学院博士後期課程開設。附属メディアセンター開設  |
| 平成14年 | 大学院美術研究科工芸専攻開設  |
| 平成17年 | 美術学部絵画学科、グラフィックデザイン学科、環境デザイン学科、芸術学科定員増  |
| 平成18年 | 美術学部絵画学科、グラフィックデザイン学科、生産デザイン学科、環境デザイン学科、大学院美術研究科デザイン専攻定員増。附置芸術人類学研究所を設置   |
| 平成19年 | 大学院美術研究科デザイン専攻定員増   |
| 平成20年 | 美術学部生産デザイン学科定員増   |
| 平成24年 | 大学院美術研究科芸術学専攻身体表現研究領域開設   |

③設置学校等

・多摩美術大学

学長 五十嵐 威暢

所在地 上野毛キャンパス：東京都世田谷区上野毛3-15-34

八王子キャンパス：東京都八王子市鎌水2-1723

④役員及び教職員に関する情報

【役員(10名)】

理事 8名

理事長 藤谷 宣人

理事(学長) 五十嵐 威暢

理事 岩倉 信弥

理事 大津 英敏

理事 高橋 史郎

理事 竹田 光幸

理事 中野 嘉之

理事 本江 邦夫

監事 2名

監事 飛鳥田 一朗

監事 森 三千郎

【評議員(20名)】

評議員 荒川 直

評議員 五十嵐 威暢

評議員 大津 英敏

評議員 ジョージ・コーチ

評議員 近藤 秀實

評議員 須永 剛司

評議員 高橋 史郎

評議員 田口 敦子

評議員 竹田 光幸

評議員 中島 和彦

評議員 中野 嘉之

評議員 野口 裕史

評議員 橋本 京子

評議員 平出 隆

評議員 福島 勝則

評議員 藤谷 宣人

評議員 室越 健美

評議員 本江 邦夫

評議員 和田 達也

評議員 渡辺 達正

(五十音順)

| 教員数 (本務者)        |           |                  |         |
|------------------|-----------|------------------|---------|
| 美術学部             |           | 造形表現学部           |         |
| 設置基準上必要専任教員数 88名 |           | 設置基準上必要専任教員数 26名 |         |
|                  | 人数        |                  | 人数      |
| 教授               | 82名(14名)  | 教授               | 21名(5名) |
| 准教授              | 17名(5名)   | 准教授              | 8名(0名)  |
| 講師               | 5名(2名)    | 講師               | 1名(1名)  |
| 助手               | 36名(17名)  | 助手               | 7名(2名)  |
| 合計               | 140名(38名) | 合計               | 37名(8名) |

|            |        |    |        |
|------------|--------|----|--------|
| 大学院        | 人数     | 大学 | 人数     |
| 助手         | 3名(1名) | 学長 | 1名(0名) |
| 教員数(本務者)合計 | 181名   |    |        |

|            |               |                 |
|------------|---------------|-----------------|
| 教員数        | (兼務者)         |                 |
|            | 客員教授：60名(13名) | 非常勤講師：343名(91名) |
| 教員数(兼務者)合計 | 403名          |                 |

所属教員数の( )は、女性教員数を内数で記載した。

|    |      |
|----|------|
| 職員 | 154名 |
|----|------|

## 2. 事業の概要

### (1) 当該年度の主な事業の概要

#### ①主な事業の目的・計画

- (1) 学内情報システムの再構築(教育内容及び運営体制の再点検)
- (2) 志願者増。入試日程、募集人員の見直し(学生受入態勢の強化)
- (3) 海外提携校との協働(国際的な美術家、デザイナーを育成する環境の構築)
- (4) 新学科設立準備(専門性と総合性の融合を目指した教育改革)

#### ②達成状況

- (1) 教務・学生管理システム(Live Campus)のバージョン・アップ(データ移行)
  - ・奨学金制度の見直し・整備、上野毛・八王子両図書館の目録フォーマットの統一
- (2) 一般入試志願者前年比103%。オープンキャンパス参加者前年比103%
- (3) パシフィック・リム(ジャパンステージ)の実施。ラオスでのバナナ・テキスタイル一村一品運動プロジェクトの実施。衛星芸術プロジェクトの継続実施
  - ・科研費など外部研究資金獲得の増強と公的研究費の管理・監査体制の強化
- (4) 新学科設立のため、平成25年4月の申請に向け準備作業を行った。

### (2) 教育研究の概要

#### ①大学の目的・教育目標

##### [大学の目的・教育目標]

学則の第一章(総則)第一条に、「広く造形芸術全般について高度な学理技能を教授研究し、あわせて国際社会に対応する幅広い教養を身に付けた人格の形成を図り、現代社会に貢献する優れた芸術家、デザイナー並びに教育者研究者等を育成する」としている。

また、大学院学則第三条に、「造形芸術全般について高度な学理技能および応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与する」としている。

専門職業人、独立した作家を育成する上で必要となる、「高い専門性と総合性の融合」を掲げている。

[美術学部の目的・教育目標]

国際社会に対応する幅広い教養を身に付けた人格の形成を図り、現代社会に貢献する優れた芸術家、デザイナー並びに教育研究者等の育成を目的として、教育研究の内容の充実と高度化を図っている。

美術大学の性格上、来るべき社会に対応する専門的な技能の修得と訓練に重きを置いている。しかし芸術の創作は、人間を忘れ学理を離れた、単なる職能人にとどまることによっては達成されないものである。教育理念として懇切な実技指導に加えて、次の2つの特徴が挙げられる。

第一に、学理の尊重は創立以来の本学の伝統である。専門教育ならびに教養・総合教育の両者ともに、広い基礎的教養を育成し、学理を中心とした専門教育の推進に努めている。

第二に、人間の主体性の確立と創造性の開発は、美術教育に不可欠の条件として特に重視している。教養・学理・実技にわたる教育は、同時に豊かな心情と自由な創意と批判的な精神に貫かれた、芸術的個性の形成を目指している。

以上の教育目標実現のため、少人数教育を採っている。カリキュラムは少数の学生を単位に編成され、特にゼミナールを強化して、人間的接触による指導の徹底を期している。また、課題解決型の授業により、自ら思考し、具体化する技能を身に付けることを何よりも重視している。

[造形表現学部（夜間）の目的・教育目標]

美術・デザイン教育を夜間に行うわが国唯一の学部であり、1989年に美術学部二部として開設され、その後1999年4月に発展的改組転換をして現在に至っている。

美術学部と同じく、専門職業人、独立した作家の育成を目的としている。それに加え、造形表現学部は通学至便の地にある夜間学部の特性を活かし、社会人の再教育・生涯教育の機会を提供することを大きな目的としている。

平日（月～金曜日）が午後6時から午後9時10分まで、土曜日は午後2時から午後9時10分までの授業時間で、4年間で卒業できるカリキュラムを組んでいる。また社会人入学試験制度を設け、社会人の再教育・生涯教育の推進にあたっている。

[大学院美術研究科博士前期課程（修士）の目的・教育目標]

大学院美術研究科博士前期課程（修士）は、美術・デザイン領域における高度な知識と技能を備えた人材を育成するため、1964年に芸術系私立大学ではわが国初めての認可を受けた。絵画、彫刻、デザインの専攻を設置し、1998年に芸術学専攻、2002年には工芸専攻を開設して、1研究科5専攻の編成としている。

クラス制の色合いを濃くし、担当教員によるマンツーマンの指導体制を基本とし、領域の専門性を深めることを目標としている。国際的な視野を具えた人材育成のため、多くの外国人留学生を受け入れ、国際化を図っている。

大学院における社会人の再教育の要請に従い、1995年に昼夜開講制を導入した。

[大学院美術研究科博士後期課程（博士）の目的・教育目標]

大学院美術研究科博士後期課程（博士）は、社会の急速な変化や学術研究の著しい進展に伴い、幅広い視野と総合的な判断力を備えた人材を育成することを目的としている。よって領域に応じた専攻を有する修士課程とは異なり、美術専攻1専攻のみを設置し、領域に捕われない美術創作研究と美術理論研究の確立を目標としている。

②教育研究上の基本となる組織に関する情報

| 学部・研究科   | 学科   | コース    |              |          |              |      |      |      |      |
|----------|------|--------|--------------|----------|--------------|------|------|------|------|
| 美術学部     | 絵画学科 | 日本画専攻  |              |          |              |      |      |      |      |
|          |      | 油画専攻   |              |          |              |      |      |      |      |
|          |      | 版画専攻   |              |          |              |      |      |      |      |
|          | 彫刻学科 | 工芸学科   | グラフィックデザイン学科 |          |              |      |      |      |      |
|          |      |        |              | 生産デザイン学科 | プロダクトデザイン専攻  |      |      |      |      |
|          |      |        |              |          | テキスタイルデザイン専攻 |      |      |      |      |
|          |      |        |              | 環境デザイン学科 | 情報デザイン学科     | 芸術学科 |      |      |      |
|          |      |        |              |          |              |      | 共通教育 |      |      |
|          |      |        |              |          |              |      |      | 造形学部 | 造形学科 |
|          |      |        |              |          |              |      |      |      |      |
|          |      |        |              | 映像演劇学科   |              |      |      |      |      |
|          | 共通教育 |        |              |          |              |      |      |      |      |
| 大学院美術研究科 |      | 博士前期課程 |              |          |              |      |      |      |      |
|          |      | 博士後期課程 |              |          |              |      |      |      |      |

③教員の保有学位、業績に関する情報

|   |
|---|
| <p>[教員の保有学位または職務上の実績等]<br/> 「多摩美術大学教員業績公開システム」<br/> <a href="http://faculty.tamabi.ac.jp/">http://faculty.tamabi.ac.jp/</a></p> |
|---|

④学習環境に関する情報

| キャンパス   | 学部・研究科   | 所在地                   | 主な交通手段  |
|---|--|-----------------------|---|
| 上野毛キャンパス  | 造形表現学部   | 東京都世田谷区<br>上野毛3-15-34 | 東急大井町線上野毛駅<br>下車                                    |
|   | [キャンパスの概要]<br>主な施設：本館・1号館、2号館、3号館、講堂、図書館、A棟、B棟   |                       |   |
|   | [運動施設の概要]<br>テニスコート  |                       |   |
| 八王子キャンパス  | 美術学部   | 東京都八王子市<br>鑑水2-1723   | JR横浜線・京王相模<br>原線橋本駅から神奈川<br>中央交通バス「多摩美<br>術大学行」に乗車。 |
|   | [キャンパスの概要]<br>主な施設：本部棟、レクチャーホール、絵画東棟、絵画北棟、彫刻棟群、<br>デザイン棟、工作センター、工芸棟群、テキスタイル棟、共通教育セン<br>ター、メディアセンター、グリーンホール、体育館、TAUホール、学<br>生クラブ棟、情報デザイン棟・芸術学棟、図書館、第二工作センター |                       |   |
|   | [運動施設の概要]<br>体育館、グラウンド、テニスコート  |                       |   |
| [課外活動の概要]<br>上野毛キャンパスと八王子キャンパス以外では、大学附属美術館（東京都多摩市）、富士山麓セミ<br>ナーハウス（山梨県）、奈良古美術セミナーハウス（奈良県） |  |                       |   |

# 平成24年度予算執行および財務状況

当期の予算執行および財務状況について、概要を報告します。

(会計についての詳細はHP [多摩美術大学について](#) [会計・事業報告をご参照ください](#))

## 2. 資金収支計算

資金収支計算について、その主な内容を報告します。

なお、金額は千円未満を四捨五入して表示しています。

【資金収支計算総括表】

| (収入の部)       |            |            |         |
|--------------|------------|------------|---------|
| 科目           | 予算         | 決算         | 差異      |
| 学生生徒等納付金収入   | 7,178,800  | 7,218,385  | 39,585  |
| 手数料収入        | 163,670    | 174,028    | 10,358  |
| 寄付金収入        | 250        | 250        | 0       |
| 補助金収入        | 658,350    | 627,108    | 31,242  |
| 資産運用収入       | 94,100     | 119,013    | 24,913  |
| 資産売却収入       | 600,000    | 600,000    | 0       |
| 事業収入         | 60,750     | 68,475     | 7,725   |
| 雑収入          | 98,100     | 154,909    | 56,809  |
| 前受金収入        | 2,731,500  | 3,328,416  | 596,916 |
| その他の収入       | 191,109    | 185,709    | 5,400   |
| 資金収入調整勘定     | 3,376,886  | 3,435,522  | 58,636  |
| 当年度資金収入合計(A) | 8,399,743  | 9,040,771  | 641,028 |
| 前年度繰越支払資金    | 9,323,746  | 9,323,746  | 0       |
| 収入の部合計       | 17,723,489 | 18,364,517 | 641,028 |

スライド制学費により授業料を美術学部・大学院34千円、造形表現学部 24千円( 2.8%)引下げました。  
24年度入学生から入学金を美術学部 50千円、造形表現学部 30千円引下げ各300千円にしました。

私立大学経常費補助金626,769千円、うち特別補助83,293千円(社会人の組織的な受入への支援32,979千円、大学等の国際交流の基盤整備への支援14,295千円、大学院等の機能の高度化への支援11,635千円、授業料減免及び学生の経済的支援体制の充実19,450千円、東日本大震災に係る支援4,934千円)の交付がありましたが一般補助学校配点が6ポイント下がり予算額を下回りました。

長期金利は低下しましたが、運用資金量の増加や比較的クーポンの高い超長期国債などの債券運用により予算額を上回りました。

国債1億円、政府保証債1億円、財投機関債3億円、地方債1億円の有価証券満期償還額です。

| (支出の部)       |            |            |           |
|--------------|------------|------------|-----------|
| 科目           | 予算         | 決算         | 差異        |
| 人件費支出        | 3,770,200  | 3,717,355  | 52,845    |
| 教育研究経費支出     | 1,964,100  | 1,663,134  | 300,966   |
| 管理経費支出       | 344,900    | 275,615    | 69,285    |
| 借入金等利息支出     | 33,400     | 32,821     | 579       |
| 借入金等返済支出     | 495,390    | 495,390    | 0         |
| 施設関係支出       | 313,900    | 173,006    | 140,894   |
| 設備関係支出       | 406,200    | 267,043    | 139,157   |
| 資産運用支出       | 1,110,000  | 909,388    | 200,612   |
| その他の支出       | 241,946    | 239,855    | 2,091     |
| 予備費          | 272,600    | —          | 272,600   |
| 資金支出調整勘定     | 297,909    | 309,308    | 11,399    |
| 当年度資金支出合計(B) | 8,654,727  | 7,464,299  | 1,190,428 |
| 次年度繰越支払資金    | 9,068,762  | 10,900,218 | 1,831,456 |
| 支出の部合計       | 17,723,489 | 18,364,517 | 641,028   |

事務職員の業務改善取り組み効果により、超過勤務時間が20.5%減少しました。

八王子キャンパス絵画東棟教室パーティションの設置他上野毛キャンパス2号館消火栓更新等の営繕費。多摩美術大学奨学金、大学院生への「学修奨励金」、私費外国人留学生への「学費減免奨学金」の継続実施、家計急変緊急奨学金等の学生支援の充実およびPCソフトや周辺消耗品の増加を見込みましたが営繕費や消耗品費等の減少もあり予算額を下回りました。

八王子キャンパス中央監視システム(インフラ使用状況)交換工事。第二工作工房・彫刻総合研究室棟・テキスト棟GHP設備更新。タビリアム空調設備更新。奈良飛鳥寮下水切替工事等を実施しました。

多摩美術大学奨学金の原資となる受取利息収入の増額を図るため、超長期国債3億円、(財投機関債)私学振興債券1億円の計4億円購入しました。第3号基本基金引当資産として超長期国債を1千万円購入しました。減価償却引当預金を5億円増額しました。

上記により次年度繰越支払資金が増加しました。

|                  |         |           |           |
|------------------|---------|-----------|-----------|
| 当年度資金収支差額(A)-(B) | 254,984 | 1,576,472 | 1,831,456 |
|------------------|---------|-----------|-----------|

### 3. 消費収支計算

消費収支計算について、その主な内容を報告します。

【消費収支計算総括表】

(消費収入の部)

(単位:千円)

| 科目       | 予算        | 決算        | 差異      |
|----------|-----------|-----------|---------|
| 学生生徒等納付金 | 7,178,800 | 7,218,385 | 39,585  |
| 手数料      | 163,670   | 174,028   | 10,358  |
| 寄付金      | 250       | 1,067     | 817     |
| 補助金      | 658,350   | 627,108   | 31,242  |
| 資産運用収入   | 94,100    | 119,013   | 24,913  |
| 資産売却差額   | 0         | 4,208     | 4,208   |
| 事業収入     | 60,750    | 68,475    | 7,725   |
| 雑収入      | 98,100    | 154,909   | 56,809  |
| 帰属収入     | 8,254,020 | 8,367,193 | 113,173 |
| 基本金組入額合計 | 706,000   | 0         | 706,000 |
| 消費収入の部合計 | 7,548,020 | 8,367,193 | 819,173 |

現金250千円のほか現物寄付金として科学研究費補助金から購入されたPC一式817千円相当額の寄贈がありました。

国債や政府保証債、財投機関債などを額面以下の価格で購入し運用していた債券が満期償還され購入額との差異がありました。

公開講座の受講者が増加し収入が大幅に上回りました。

(支出の部)

| 科目        | 予算        | 決算        | 差異      |
|-----------|-----------|-----------|---------|
| 人件費       | 3,807,860 | 3,722,070 | 85,790  |
| 教育研究経費    | 3,487,100 | 3,173,690 | 313,410 |
| (うち減価償却額) | 1,523,000 | 1,510,556 | 12,444  |
| 管理経費      | 454,300   | 380,889   | 73,411  |
| (うち減価償却額) | 109,400   | 105,274   | 4,126   |
| 借入金等利息    | 33,400    | 32,821    | 579     |
| 資産処分差額    | 42,300    | 41,838    | 462     |
| 徴収不能額     | 0         | 0         | 0       |
| 予備費       | 298,400   | —         | 298,400 |
| 消費支出の部合計  | 8,123,360 | 7,351,308 | 772,052 |

キャンパス整備の充実による建物や機器備品などの資産の増加とともに減価償却額が増額しています。

広告費や印刷費、営繕費、構築費、支払報酬手数料などが大幅に減少しました。

中央監視システム更新にかかる建物処分差額30,434千円、構築物処分差額10,946千円および汚損・紛失による図書処分差額が459千円発生しました。

上記の結果、帰属収入は110百万円予算を上回り、帰属収支差額比率は12.1%になりました。

これは次年度以降も継続される施設整備計画の資金として充当されます。当年度の消費収入超過額は1,013百万円となり翌年度繰越消費支出超過額は6,061百万円に減額しました。

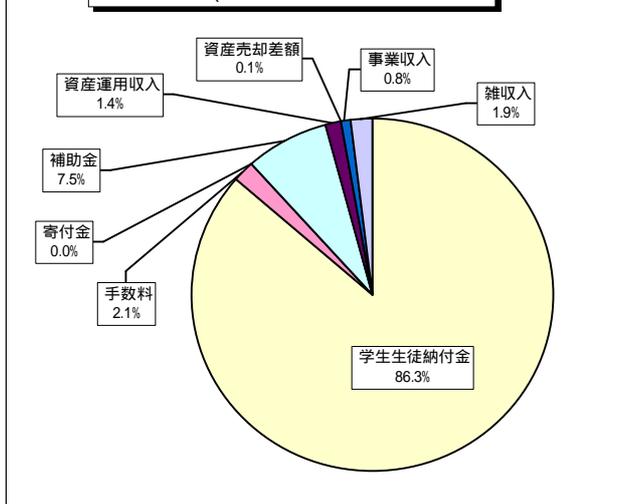
この消費支出超過額は、将来計画にかかる基本金の先行組入れ(90億円)や借入金に頼らない施設設備充実の結果生じた多額の基本金組入れによるもので、中期的には消費支出超過額を解消し今後も消費収支の均衡が図られる運営を目指しています。

|              |           |           |         |
|--------------|-----------|-----------|---------|
| 帰属収支差額(注1)   | 130,660   | 1,015,885 | 885,225 |
| 帰属収支差額比率(注2) | 1.6%      | 12.1%     | —       |
| 当年度消費収入超過額   | 0         | 1,015,885 | —       |
| 当年度消費支出超過額   | 575,340   | 0         | —       |
| 前年度消費支出超過額   | 7,075,000 | 7,075,000 | —       |
| 翌年度繰越消費支出超過額 | 7,650,340 | 6,059,115 | —       |

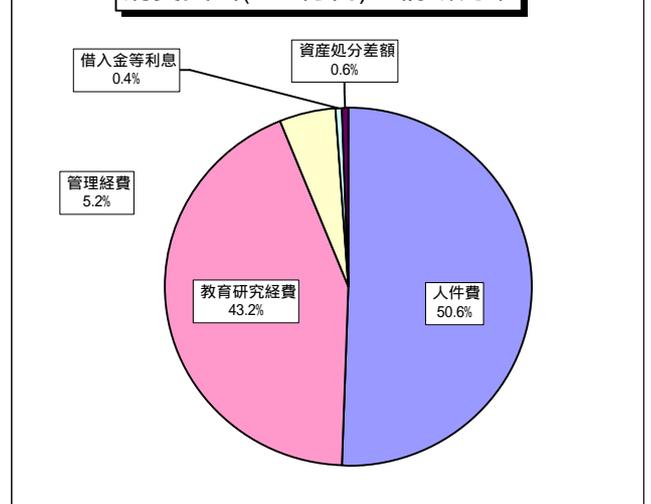
注1 帰属収支差額 = 帰属収入 - 消費支出

注2 帰属収支差額比率 = 帰属収支差額 ÷ 帰属収入 × 100

帰属収入(83.6億円)の構成比率



消費支出(73.5億円)の構成比率



## 4. 貸借対照表

貸借対照表について前年度からの増減と5ヵ年推移を報告します。

(資産の部)

(単位:千円)

| 科目       | H24年度末     | H23年度末     | 増減        |
|----------|------------|------------|-----------|
| 固定資産     | 53,914,959 | 54,828,212 | 913,253   |
| 有形固定資産   | 36,078,857 | 37,295,659 | 1,216,802 |
| その他の固定資産 | 17,836,102 | 17,532,553 | 303,549   |
| 流動資産     | 11,079,503 | 9,544,912  | 1,534,591 |
| 合計       | 64,994,462 | 64,373,124 | 621,338   |

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

| 科目                | H24年度末     | H23年度末     | 増減        |
|-------------------|------------|------------|-----------|
| 固定負債              | 2,516,199  | 2,881,874  | 365,675   |
| 流動負債              | 4,182,801  | 4,211,673  | 28,872    |
| 計                 | 6,699,000  | 7,093,547  | 394,547   |
| 第1号基本金            | 54,533,497 | 54,533,497 | 0         |
| 第2号基本金            | 9,000,000  | 9,000,000  | 0         |
| 第3号基本金            | 341,080    | 341,080    | 0         |
| 第4号基本金            | 480,000    | 480,000    | 0         |
| 計                 | 64,354,577 | 64,354,577 | 0         |
| 消費収支差額            | 6,059,115  | 7,075,000  | 1,015,885 |
| 負債、基本金、消費収支差額の部合計 | 64,994,462 | 64,373,124 | 621,338   |

(参考)

|                |            |            |           |
|----------------|------------|------------|-----------|
| 正味資産額          | 58,295,462 | 57,279,577 | 1,015,885 |
| 正味資産 = 資産 - 負債 |            |            |           |
| 減価償却額の累計額      | 18,166,063 | 16,887,988 | 1,278,075 |
| 基本金未組入額        | 0          | 0          | 0         |

貸借対照表についてH22年度～H20年度を報告します。

(資産の部)

(単位:千円)

| 科目       | H22年度末     | H21年度末     | H20年度末     |
|----------|------------|------------|------------|
| 固定資産     | 54,218,539 | 54,029,348 | 54,439,345 |
| 有形固定資産   | 38,486,236 | 39,796,625 | 41,106,425 |
| その他の固定資産 | 15,732,303 | 14,232,723 | 13,332,920 |
| 流動資産     | 8,941,522  | 8,702,192  | 7,515,226  |
| 合計       | 63,160,061 | 62,731,540 | 61,954,571 |

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

| 科目                | H22年度末     | H21年度末     | H20年度末     |
|-------------------|------------|------------|------------|
| 固定負債              | 3,433,941  | 3,950,933  | 4,440,486  |
| 流動負債              | 4,011,621  | 4,186,134  | 4,533,501  |
| 計                 | 7,445,562  | 8,137,067  | 8,973,987  |
| 第1号基本金            | 54,533,497 | 54,424,670 | 54,140,519 |
| 第2号基本金            | 7,500,000  | 6,000,000  | 4,500,000  |
| 第3号基本金            | 341,080    | 340,910    | 339,910    |
| 第4号基本金            | 480,000    | 480,000    | 480,000    |
| 計                 | 62,854,577 | 61,245,580 | 59,460,429 |
| 消費収支差額            | 7,140,078  | 6,651,107  | 6,479,845  |
| 負債、基本金、消費収支差額の部合計 | 63,160,061 | 62,731,540 | 61,954,571 |

(参考)

|                |            |            |            |
|----------------|------------|------------|------------|
| 正味資産額          | 55,714,499 | 54,594,473 | 52,980,584 |
| 正味資産 = 資産 - 負債 |            |            |            |
| 減価償却額の累計額      | 15,389,296 | 14,496,592 | 13,177,715 |
| 基本金未組入額        | 319,652    | 376,442    | 482,492    |

建物 = 美術学部 中央監視(インフラ使用)システム更新工事  
GHP設備8基更新工事他  
造形表現学部 講堂地下化改修工事。  
構築物 = 美術学部 2号井改修工事他  
教育研究用機器備品  
美術学部 = 図書館蔵書管理システム、Tamabisa-ハ-更新  
他  
造形表現学部 = 録音室音響設備更新、iMac27インチ83台  
購入他  
車両 = 山中純林苑(セミナーハウス)ハッチバック1台

有価証券は償還6億円・取得4億円で差引き2億円減少、  
第3号基本金引当て分3.4億円を含む保有の有価証券残  
高45.3億円(H25/3月末現在の取得価額に対する評価は  
プラス219百万円)  
多摩美術大学施設整備資金引当預金(第2号基本金引  
当預金)残高は組入れ計画終了で変わらず90億円。  
現有固定資産更新のための資金「減価償却引当預金」  
残高は5億円増加し43億円。

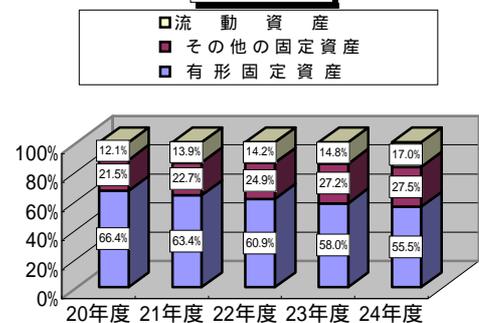
現金預金残高は前年比1,576百万円増加し10,900百万  
円、退職金財団交付金等の未収入金は 33百万円減  
少し140百万円、前払金は11百万円減少し37百万円。

長期借入金残高は返済により減少し440百万円  
退職給与引当金残高307名分は2,076百万円。

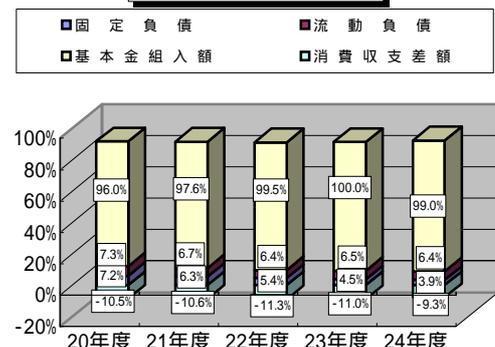
第1号基本金 = 平成24年度の組入額(資産取得)441百  
万円は当年度除却資産の基本金組入額380百万円と過  
年度の基本金繰延高のうち61百万円を充当し組入額を  
相殺しました。この結果次年度繰越基本金繰延額は  
286百万円になりました。

第2号基本金 = 施設整備資金に係る組入れで平成23年  
度末で組入計画終了。組入額合計残高90億円。

資産構成比率



負債、基本金、収支差額構成比率



## 5. 財務比率 < 平成18年度から平成24年度 >

芸術系平均値は、日本私立学校振興・共済事業団編『今日の私学財政』平成23年度版より算出しました。

| 項目        | 算式                                  | 評価 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 芸術系平均値 |
|-----------|-------------------------------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 人件費比率     | $\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$    |    | 40.4%  | 39.1%  | 40.7%  | 40.3%  | 42.8%  | 40.9%  | 44.5%  | 57.0%  |
| 人件費依存率    | $\frac{\text{人件費}}{\text{学生納付金}}$   |    | 46.9%  | 45.9%  | 48.5%  | 46.9%  | 50.3%  | 48.0%  | 51.6%  | 73.0%  |
| 管理経費比率    | $\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$   |    | 4.4%   | 5.1%   | 4.5%   | 4.4%   | 5.4%   | 4.4%   | 4.6%   | 10.1%  |
| 借入金等利息比率  | $\frac{\text{借入金利息}}{\text{帰属収入}}$  |    | 1.5%   | 1.2%   | 1.0%   | 0.8%   | 0.7%   | 0.5%   | 0.4%   | 0.2%   |
| 消費支出比率    | $\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$   |    | 75.4%  | 84.5%  | 79.8%  | 82.1%  | 87.7%  | 82.5%  | 87.9%  | 101.0% |
| 消費収支比率    | $\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$   |    | 143.0% | 125.0% | 97.1%  | 102.4% | 106.6% | 99.1%  | 87.9%  | 112.1% |
| 固定資産構成比率  | $\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$    |    | 90.8%  | 89.6%  | 87.9%  | 86.1%  | 85.8%  | 85.2%  | 83.0%  | 88.0%  |
| 総負債比率     | $\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$     |    | 18.2%  | 15.6%  | 14.5%  | 14.5%  | 11.8%  | 11.0%  | 10.3%  | 9.6%   |
| 補助金比率     | $\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$    |    | 6.1%   | 6.1%   | 7.6%   | 7.3%   | 7.4%   | 8.3%   | 7.5%   | 10.7%  |
| 基本金組入比率   | $\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$ |    | 47.3%  | 32.4%  | 17.8%  | 19.8%  | 17.7%  | 16.7%  | 0.0%   | 9.9%   |
| 基本金比率     | $\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$ |    | 97.0%  | 99.1%  | 99.1%  | 99.3%  | 99.4%  | 100.0% | 100.0% | 98.3%  |
| 教育研究費経費比率 | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$ |    | 29.1%  | 36.5%  | 33.6%  | 36.4%  | 37.0%  | 36.6%  | 37.9%  | 30.6%  |
| 学生納付金等比率  | $\frac{\text{学生納付金}}{\text{帰属収入}}$  |    | 86.0%  | 85.0%  | 84.0%  | 86.0%  | 85.0%  | 85.2%  | 86.3%  | 78.1%  |
| 減価償却額比率   | $\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$  | -  | 20.5%  | 21.2%  | 22.8%  | 22.8%  | 20.9%  | 22.3%  | 22.0%  | 12.2%  |

### 【比率分析の見方】

人件費比率 = 帰属収入に対する人件費割合を示す重要な比率で低い方が望ましい。

人件費依存率 = 学生納付金に対する人件費割合で一般的には低い方が望ましい。

借入金等利息比率 = 低い方が良い。本学は八王子キャンパス整備の際の借入金残高が多く平均値を上回っている。

管理経費比率 = 帰属収入に対する管理費用の割合で低い方が良い。

消費支出比率 = 人件費や管理経費、教育研究経費などで消費された比率で低いほど安定し自己資金は充実する。

消費収支比率 = 消費収入に対する消費支出の割合で低い方が良く比率が100%を超えると支出超過(赤字)となる。

固定資産構成比率 = 総資産に占める固定資産の割合で低い方が良い。比率が特に高い場合は流動性に欠ける評価。

総負債比率 = 低い方が良い。総資産に対する他人資金の割合、50%を超えると負債総額が自己資金を上回る。

補助金比率 = 私立大学等経常費補助金の配分方法見直し、研究設備整備費等補助金などの積極的な取り組みにより増加。

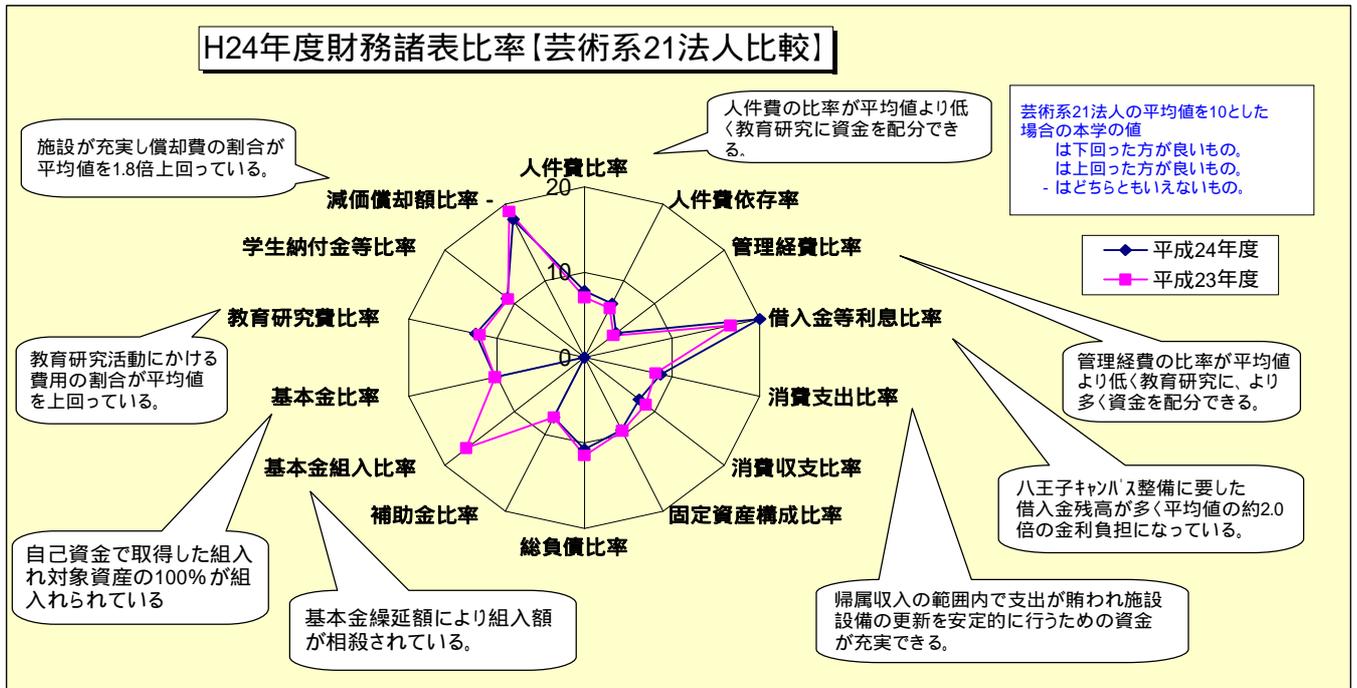
基本金組入比率 = 高い方が良いとされる。長期に亘る八王子キャンパス整備や上野毛キャンパス整備計画により組入れ比率が高水準。

基本金比率 = 基本金組入対象(教育研究用)資産の自己資金取得による割合で高い方が良い。

教育研究経費比率 = 帰属収入に対する教育研究活動費用の割合で高い方が良い。

学生納付金等比率 = 帰属収入の中で最もエートが高く安定推移が良い。学費のみに依存しない体制作りが重要。

減価償却額比率 = 将来、資産の更新時に必要である。実質的には消費されずに留保される資金。



### 【まとめ】

平成24年度末における本学の財政状況は、多額の資金を要した八王子キャンパス整備実施の際に日本私立学校振興・共済事業団から資金を借り入れたことで総負債比率が平均値より若干高くなっていますが、人件費支出の圧縮や管理経費支出の節減等により負債の返済金や新規の施設設備整備計画に当てるための、資金ストックおよび毎年度の帰属収支差額に不足なく、今後も安定的な教育運営資金が十分に確保されています。

## 6. 法人の概要

設置する学部学科の名称および入学定員と学生数

【大学・学部】

| キャンパス    | 学部             | 学科           | 専攻・コース                  | 入学定員  | 収容定員   | 学生数                   | 定員充足率  |
|----------|----------------|--------------|-------------------------|-------|--------|-----------------------|--------|
| 八王子      | 美術学部           | 絵画学科         | 日本画                     | 190   | 760    | (152)                 | 110.5% |
|          |                |              | 油画                      |       |        | (538)                 |        |
|          |                |              | 版画                      |       |        | (150)                 |        |
|          |                | 彫刻学科         |                         | 30    | 120    | 137                   | 114.2% |
|          |                | 工芸学科         | 陶                       | 60    | 240    | 252                   | 105.0% |
|          |                |              | ガラス<br>金属               |       |        |                       |        |
|          |                | グラフィックデザイン学科 |                         | 180   | 720    | 778                   | 108.1% |
|          |                | 生産デザイン学科     | プロダクトデザイン<br>テキスタイルデザイン | 100   | 400    | 457<br>(277)<br>(180) | 114.3% |
| 環境デザイン学科 |                | 80           | 320                     | 343   | 107.2% |                       |        |
| 情報デザイン学科 | 情報芸術<br>情報デザイン | 120          | 480                     | 587   | 122.3% |                       |        |
| 芸術学科     |                | 55           | 220                     | 235   | 106.8% |                       |        |
|          |                | 小計           |                         | 815   | 3,260  | 3,629                 | 111.3% |
| 上野毛      | 造形表現学部         | 造形学科         |                         | 40    | 160    | 133                   | 83.1%  |
|          |                | デザイン学科       |                         | 100   | 400    | 280                   | 70.0%  |
|          |                | 映像演劇学科       |                         | 60    | 240    | 255                   | 106.3% |
|          |                | 小計           |                         | 200   | 800    | 668                   | 83.5%  |
| 合計       |                |              |                         | 1,015 | 4,060  | 4,297                 | 105.8% |

カッコ内は専攻の内数

【大学院】

| キャンパス            | 研究科               | 専攻          | 研究領域   | 入学定員 | 収容定員 | 学生数         | 定員充足率  |
|------------------|-------------------|-------------|--|------|------|-------------|--------|
| 八王子<br>及び<br>上野毛 | 美術研究科<br>(博士前期課程) | 絵画専攻        | 日本画  | 60   | 120  | 114         | 95.0%  |
|                  |                   |             | 油画   |      |      |             |        |
|                  |                   |             | 版画   |      |      |             |        |
|                  |                   | 彫刻専攻        |  | 12   | 24   | 24          | 100.0% |
|                  |                   | 工芸専攻        |  | 10   | 20   | 20          | 100.0% |
|                  |                   | デザイン専攻      | グラフィックデザイン<br>プロダクトデザイン<br>テキスタイルデザイン<br>環境デザイン<br>情報デザイン<br>コミュニケーションデザイン | 45   | 90   | 97          | 107.8% |
|                  | 芸術学専攻             | 芸術学<br>身体表現 | 7  | 14   | 15   | (12)<br>(3) | 88.2%  |
| 3                |                   |             | 3  |      |      |             |        |
|                  |                   | 小計          |  | 137  | 271  | 270         | 99.6%  |
|                  | (博士後期課程)          | 美術専攻        |  | 7    | 21   | 21          | 100.0% |
| 合計               |                   |             |  | 144  | 292  | 291         | 99.7%  |

|    |       |       |       |        |
|----|-------|-------|-------|--------|
| 総計 | 1,159 | 4,352 | 4,588 | 105.4% |
|----|-------|-------|-------|--------|

平成24年5月1日現在